

平成30年

夏の交通安全市民運動 実施要綱

平成30年7月11日(水)～7月20日(金)



平成29年度 交通安全ポスターの部
豊田市議会議長賞作品

スローガン

「ストップ・ザ 交通事故
～高めようモラル 守ろうルール～」

サブスローガン

「車優先のまちから
歩行者優先のまちへ」

「市内一斉交通安全街頭活動の日」

- 内容 市内一斉に交通安全街頭活動を実施し、活動者自身と通行車両の交通安全意識の高揚を図ります。
(目標…1世帯1人の参加)
- 期日 平成30年7月11日(水)
時間、場所などは各自治区、団体単位で設定してください。
交通安全街頭活動に御協力をお願いします。



目的

夏本番を迎え、海や山では本格的なレジャーシーズンが到来します。この時期は、行楽のために自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから運転者の注意力が散漫になりがちです。また、屋外で遊ぶ子どもたちや夕涼みなどで外出する高齢者も増えるため、交通事故に巻き込まれる危険性が高まります。さらに、夏特有の解放感や各種の祭礼などで飲酒の機会も増えるため、飲酒運転による交通事故も懸念されます。そこで、取組重点に沿った交通安全市民運動を展開し、交通事故の防止を図ります。

豊田市交通安全市民会議

取組重点

- ◎ 歩行者保護モデルカー活動の推進
- ◎ 子どもと高齢者の交通事故防止
- ◎ 歩行者・自転車の交通事故防止
- ◎ 交差点事故の防止
- ◎ 飲酒運転の根絶
- ◎ すべての座席でシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底

ぐずっても
ぐっとこらえて
チャイルドシート

平成29年度 交通安全標語の部 優秀作品

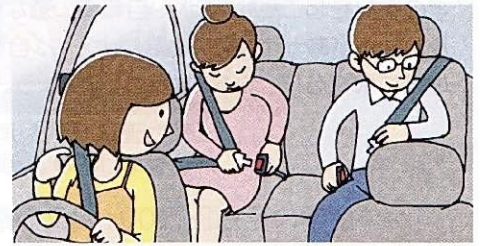


合言葉は、すべての座席で「カチッと100！」 シートベルト・チャイルドシートを100%着用しましょう！

愛知県内では、平成29年の四輪車乗車中の死者47人のうち18人がシートベルト非着用でした。そのうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる人は9人（50%）でした。また、その中には、チャイルドシートを着用していなかったために幼児が犠牲になった交通死亡事故もありました。

交通事故が発生した時、シートベルト非着用者の致死率は、着用者の14倍以上にもなります。

後部座席も含めたすべての座席で、シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底しましょう。



～交通事故死“全国ワースト1位”返上を豊田市から～

歩行者保護モデルカー活動 を推進しています！

市民向けステッカーを作成しました！

ステッカーを車両に貼り「歩行者優先」の運転を実践しましょう。

丸形（直径8cm）	四角形（縦8cm×横8cm）
DRIVE SAFELY・・・「安全運転」	

<配布場所>

- ・豊田市役所交通安全防犯課（南庁舎4階）
- ・事前に電話連絡をいただければ、支所・出張所での受け取りも可能です。

『歩行者保護モデルカー活動』とは、ドライバーが次の3項目を実践した運転をすることで、交通事故抑止を目指す活動です。

- ① 速度遵守（制限速度を必ず守る）
- ② ハイビーム活用（ライト点灯時はハイビームを活用する）
- ③ 歩行者優先（横断歩道で歩行者を見たら必ず止まる）

豊田市交通安全市民会議事務局

〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市役所交通安全防犯課内

TEL：34-6633 FAX：32-3794 Eメール：signal@city.toyota.aichi.jp

ホームページ：http://www.signal.toyota.aichi.jp/

